

定例オンラインセミナー講演会No.84

教科教育学・心理学・日本語教育学の視点からインクルーシブな学びを考える(2)

算数・数学に学びにくさのある 子どもへの支援と配慮

● 日時

2021

7.25 (日)

14:00-15:30

オンライン会議Zoomを使用

本シリーズでは、学びにくさを持つ子どもに既成の教科カリキュラムをいかに教えるかとともに、インクルーシブな社会の実現に向けて教育には何ができるかを考える。

第2回目は、算数・数学科である。

この教科の学びにくさには諸論あるが、インクルーシブな学びを考えるには、個々の子どもに応じた支援や指導方法の工夫と同時に、教師・子ども・教科の間の配慮関係(ケアリング)も大切になる。算数・数学科の学びに関心を持つすべての方々と共に、インクルーシブな学びにおけるこの教科の貢献を考えたい。

● スケジュール

趣旨説明: 影山和也(広島大学)

足場設定: 学びにくさのある子どもへの支援と配慮

影山和也

事例研究1: 算数科の場合

松島充(香川大学教育学部)

事例研究2: 数学科の場合

西宗一郎(広島大学附属三原中学校)

全体協議

● 主催

- ・日本生命財団「児童・少年の健全育成委託研究」
「学びのユニバーサルデザインに基づく日本型
インクルーシブ教育システムのロールモデルの開発」
(研究代表者: 川合紀宗)

● 共催

- ・科学研究費 基盤B「教室での知識の創出と進化を
促す学習作業空間の構成に関する総合的研究」
(研究代表者: 影山和也)
- ・広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)

● 後援

- ・広島SDGsコンソーシアム



QRコードからお申し込みいただけます。お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡します

【お問い合わせ先】Tel & Fax: 082-424-5265, Email: evri-info@hiroshima-u.ac.jp

<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/17461>